笑顔で楽しく学ぶ生涯学習

人々の価値観や生活様式が多様化し、心の豊かさや生きがいづくりへの志向が高まっています。

そこで、町民が自己の能力を高め、自立的で人間性豊かな生活を送るためには、生涯にわたる学習が必要であり、家庭、学校、地域を一貫する生涯学習のまちづくりが不可欠です。大刀洗町中央公民館や校区集会所及び各地区の公民館では、さまざまな学級、教室、サークル、ボランティア活動が盛んに行われており、楽しい交流の輪が広がっています。

青少年を取り巻く環境が大きく変化する中、志を持ってたくましく生きていく青少年が育っていくためには、家庭、学校、地域が一体となり、それぞれの教育機能を十分に発揮し、地域ぐるみで青少年を育てていかなければなりません。青少年育成町民会議、校区民会議、町や各校区主催のチャレンジ教室などで活発な活動が行われています。

充実したスポーツ施設で、町民のスポーツ活動をバックアップしています。野球、サッカーができる多目的グラウンドやテニスコート、ゲートボール場を備える運動公園。バレーボールやバスケットボール大会などが行われる勤労者体育センター。柔道、剣道、居合が行える町立武道場。これらの体育施設を、多くの町民の皆様が利活用して楽しく汗を流しています。生涯スポーツを通じて、更なるコミュニティーの形成を図り、全町民の体力づくりをめざします。

チャレンジ教室

サークル活動

分館相撲大会

図書館

町民体育大会

歴史が息づくロマン探訪のまち

大刀洗町は、田園風景が広がる中、いたるところに歴史が息づいています。

町名のルーツは、南北朝期の菊池武光公が筑後川の戦いで奮戦し、血刀を洗ったエピソードに基づきます。その雄姿が偲ばれる銅像はきれいに整備され、町民の憩いのスポット「大刀洗公園」に堂々と、そして静かに建っています。

「おしどり物語」の哀話で知られる三原弾正時勝を祖とする豪族、三原氏の居城とされる三原城は、外堀や内堀が今もその形を残しています。その菩提寺である西光寺の阿弥陀三尊像は、鎌倉時代の仏教美術が持っている力強さと、繊細さを感じさせ、福岡県重要文化財に指定されています。

大河筑後川の恵みを得るため草野又六らの指導で完成した床島堰は、この地域の農業に重要な役割を果たしています。その指導者を近代に合祀した大堰神社は、大堰公園とともに町民の憩いの場となっています。

隠れキリシタンの歴史を持つ今村カトリック教会は、わが国のレンガ造教会堂として完成度が最も高いと評され、神父や信徒の厚い信仰と設計施工した鉄川与助の建築家魂の賜です。

奈良時代の郡役所が完全な形で残っている国史跡下高橋官衙遺跡は、何度でも訪れたくなる『これが郡衙だ！よみがえる古代の役所』をめざし整備計画が現在進行しています。

また、近年の発掘調査では特異な石室形態の本郷鶯塚1・3号墳や、古代朝鮮の百済産の土器が出土した西森田遺跡など、注目される遺跡が相次いで発見されています。

一方、本郷玉垂宮の「獅子追い」、山隈老松宮の「獅子舞」、町内各地の七日正月の左儀長など、様々な伝統行事があります。昭和初期の大嘗祭に奉納された「お田植踊り」や、近年創作された床島堰建設の指導者をたたえた「五庄屋太鼓」が受け継がれ、地域芸能となっています。

下高橋官衙遺跡

お田植踊り

三原城址

大刀洗公園

五庄屋太鼓